

キャラクター名
御劔 巨輝(ミツルギ コウキ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	ヒーローB	カヴァー	金物屋店主
	エンジェルハイロウ					
オプション			年齢	33	性別	男
覚醒	探求	衝動	闘争	初期侵食率	30	%
出自	父親不在	経験	大失態	邂逅	好敵手	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1		0			1	行動値	24
感覚	5	1	3		2	11	(非装備時)	24
精神	1		0		1	2	戦闘移動	29
社会	1		0			1	全力移動	58

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ヒーロー	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティエポソ		0	3	LV+7		形状は大鎌
死の舞踏"ダソス・マカブル"	白兵	13r+10	3	27		C値-2 装甲無視 ダソス-1(適用済み)
L侵蝕率100%以上	白兵	17r+10	3	33		C値-3 装甲無視 ダソス-1(適用済み)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ヒーローコスチューム		6			【社会】判定ダソス+1 戦闘中適用外

所持品	
ヒーローズクロス	
カテゴリ:ブラックアウト	
スポンサード	
コネ:ヒーローマニア	
パワーソース:サイエソス	
メモリー「過去の想い出」	

合計装甲: 6 合計回避: 0

ロソス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダソス	消費
序列不能"ブラックアウト"	P	N		
母親:美玲(ミレイ)	P 慈愛	N 恐怖		
霧谷 雄吾(ウツタニ ユウゴ)	P 信頼	N 不安		
マスター・ダイゴ	P 懐旧	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキソトラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセプト:エンジェルハイロウ	2	2	Xダソス	-	-	-	-	
効果:	C値-LV(下限値7)							
インフィニティエポソ	5	3	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果:	白兵武器を作成							
光の舞踏	1	2	Xダソス/リア	武器	-	-	-	
効果:	判定を【感覚】へ変更							
カスタマイズ	3	2	Xダソス	武器	-	対決	-	
効果:	ダソス+LV個							
光芒の疾走	1	1	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果:	離脱可能の移動を行う ショックLV回							
ペネトレイト	1	3	Xダソス	武器	-	対決	-	
効果:	装甲無視 ダソス-1							
咎人の剣	3	4	Xダソス	-	-	対決	リミット	
効果:	攻撃力+[Lv*5]							
剣精の手	3	2	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果:	判定のダソス目1つを10へ変更 ショック[Lv+1]回							
マスヴィジョン	3	4	Xダソス	-	-	対決	100	
効果:	攻撃力+[Lv*5] ショック3回							
万能器具	★							
効果:								
七色の直感	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

湾岸スラムエリアに近い丸の内エリアで小さな金物屋を営んでいる人当たりのいい店主。
 その実態は、以前表舞台で活躍していたベテランヒーロー。現在ではほとんど知られていない。
 実は昔、ヒーローとして大々的に活動していた時に、エフェクトの制御が利かなくなって大事故を起こしたことがある。
 それ以降、エフェクト使用時の侵蝕率上昇が顕著になってしまった為、このままでは危険と判断され正規ヒーローの枠から外されることになった。
 今では時々簡単なエフェクトを行っしながら金物屋店主をやっている、という隠居生活のようなことしながら生きている。
 とはいっても、大規模な事件が起こって出動要請がかかれば表舞台に出ることもやぶさかではない。

本来、レネゲイドウィルスに感染もしていない真人間だった。
 だが"ヴィランズイヤー"時に父親を失い、何とかヴィランの数を減らせないと模索した結果、自らレネゲイドウィルスを体内に取り組み暴拳にでる。
 生来身体があまり強くなかった為、覚醒時の衝撃に身体が耐えきれず一週間ほど生死の淵を彷徨った過去がある。
 なんとか一命を取り留めた後、護人会を知って接触。無事にメンバーとして所属することに。その時に『マスター・ダイゴ』の薫陶を受けた。
 おかげで表舞台で活躍できたが、所詮無理矢理適合した身。年を取るごとに、レネゲイドの力に身体がついていなくなり、件の大事故を引き起こした。
 けれど、自身がオーヴァードになったことに関しては、後悔していない模様。

それと、"狩獵者"「伊庭宗一」とは何かしらの因縁があるらしく、目撃情報があった場合、交渉してでも表に出ることがある。